

J Sights Corporation

ナミビア産ロブスター 24-25 シーズンの見通し

2024年12月19日

J サイト株式会社 担当:本田

[お問い合わせ](#)

当社が日本の総輸入代理店を務めるナミビア産イセエビの2024-2025シーズンの開始に合わせて、近年の動向と今シーズンの見通しを報告いたします。

図1：2020年と2021年の輸入量は大幅に減少しています。これはコロナ禍による外食需要の急減と物流の混乱が要因です。2022年以降は輸入量が回復傾向にあり、2023年にはコロナ前の水準に近づいています。

*2024年のデータは10月までの輸入統計ですので、最終的には2022年を上回る見込みです。

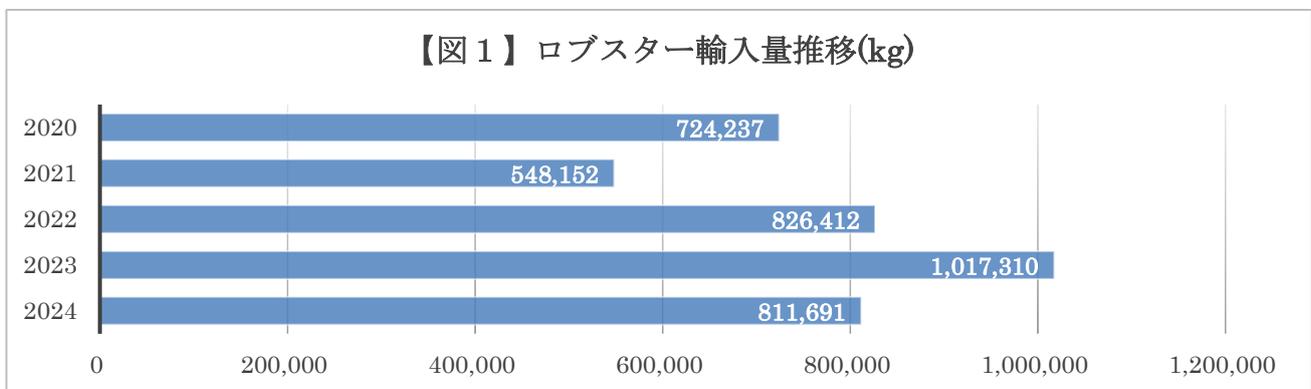


図2：2020年にナミビア産が一時的に輸入数量を拡大しましたが、2021年以降は減少傾向です。これは中国市場の台頭が影響し、中国がナミビア産ロブスターの主要な購入先となっている為です。

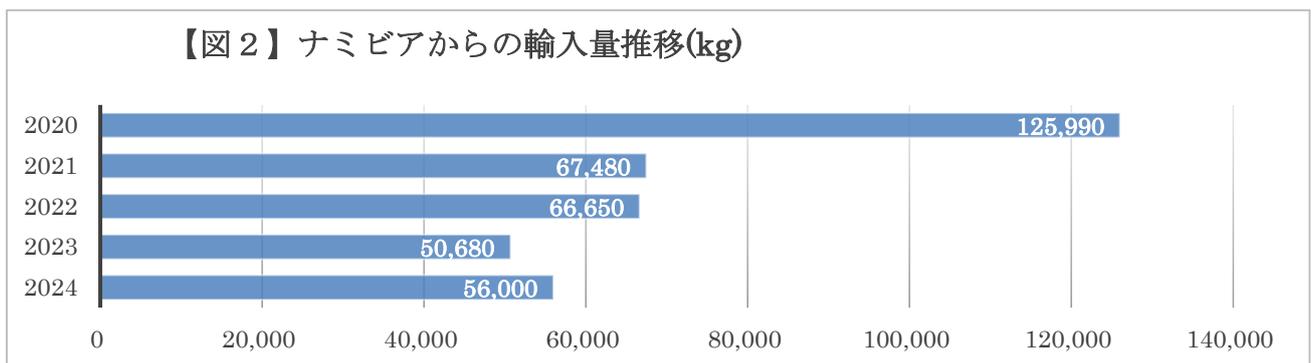
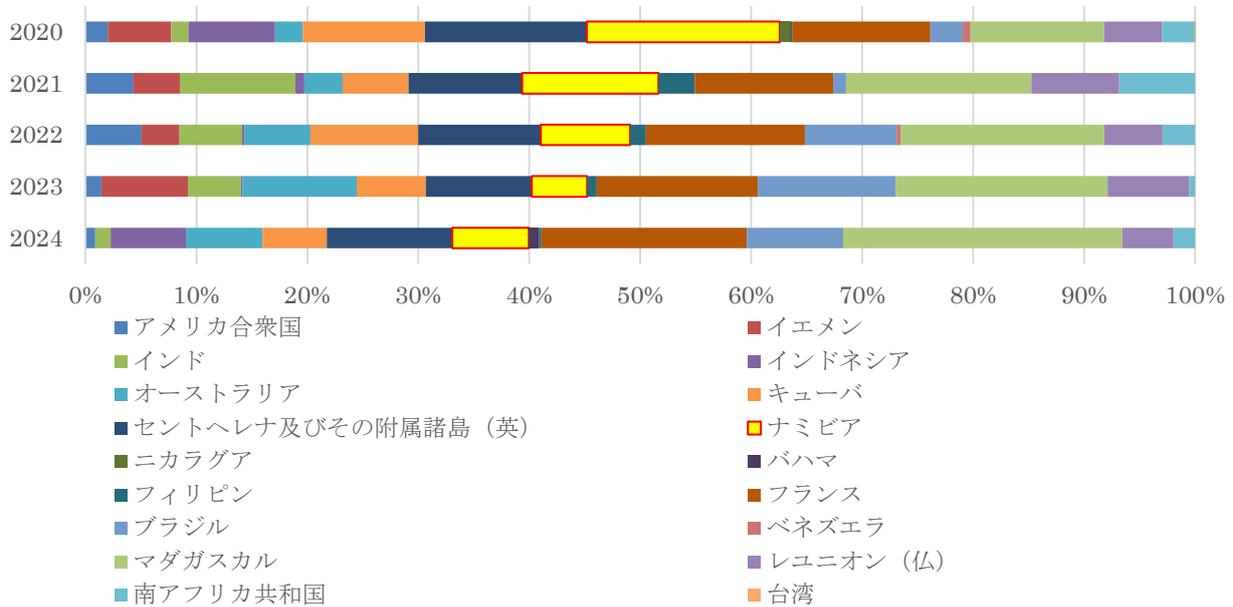


図3：日本市場全体のロブスター輸入量が2022年以降回復傾向にあるにもかかわらず、ナミビア産ロブスターの輸入量が回復せず、結果として市場シェアが減少している現状を示しています。この背景には、中国市場の価格競争力や支払い条件の優位性があり、ナミビア産ロブスターが主に中国市場に吸収されている状況があります。

J Sights Corporation

【図3】 各年のロブスター輸入総量に対する各国のシェア推移



*出典 図1・図2：財務省貿易通関統計
図3：図1・図2を基に弊社独自に集計

2024-2025 シーズンの見通し

2024年10月、中国がオーストラリア産ロブスターの輸入制限を年内にも解除する方針を示しました。これにより、オーストラリア産ロブスターの中国市場への供給が再開される見込みです。しかし、現時点ではナミビア産ロブスターの中国向け供給が依然として多く、現地からの情報でも大きな変化は見られません。また、11月末のナミビア大統領選挙では与党が勝利したことから、大きな政策変更や状況の劇的な変化はないものと考えます。

創業以来15年間、弊社は総輸入代理店として現地工場のCEOや漁業関係者の代表の方々と深い信頼関係を築いてきました。今年度もそのパートナーシップを活かし、新たな覚書を締結しました。これにより、よりきめ細やかに生産状況を把握する仕組みを構築し、日本市場への安定供給を目指した具体的な取り組みを進めています。

ナミビア産ロブスターの漁獲が解禁され、これまでの取り組みの成果として、年内には船積み可能な状況となっております。弊社は引き続き現地との情報共有を密に行い、持続可能な供給体制を構築しています。また、現地との継続的な協議を経て、年間80MT以上の安定供給に向けた協力体制を強化し、両者が最大限の努力を重ねることで合意しております。

これからも、お客様に信頼いただける安定した供給を目指し、全力で取り組んでまいりますので、どうぞご期待ください。